

高齢者の予防医療—人間ドック・健診

超高齢化社会がもたらすさまざまな問題の解決には、とにかく高齢者が健やかであることが必須です。疾患を発症してからのケアではなく、疾患を予防することに注力することがより重要となるのは言うまでもありません。予防医療の核となるのが、人間ドック・健診です。私たち臨床検査に携わるものの活動分野の1つではありますが、予防医学の知識・経験が十分かという自信のない方もいるのではないのでしょうか。

そこで本特集では、人間ドック・健診分野の専門家の方々に、高齢化社会に向けた専門分野の総論的な取り組みと、各論として、心疾患、腎臓病、運動器疾患、泌尿器科疾患、耳鼻科疾患、認知症の予防医療について解説をいただきました。超高齢者社会における予防医療の現状を理解し、臨床検査がどう貢献できるかを考える機会になりましたら幸いです。

山田俊幸(自治医科大学臨床検査医学)